

## まつげエクステ安全技術ガイドライン

### 1. 禁止事項

- ① 目を開いた状態で施術はしない（セルフエクステの禁止）
- ② まぶた（皮膚）へ直接接着しない（皮膚から 1mm 離れたところに装着する）
- ③ まつ毛を無理に抜かない
- ④ まつ毛をハサミ等で切断しない

### 2. 事前確認の徹底

- ① まつげエクステに使用する道具にアレルギーがある場合はその道具（に含まれる物質）を使用してはならないこと
- ② 眼病や皮膚疾患（顔等）がある場合は、専門医の判断なしに施術はしないこと
- ③ 感染性の眼病や感染性の皮膚疾患（顔等）がある場合は触らず、完治するまで施術はしないこと
- ④ 施術中の突発的な事故を防ぐためにソフトコンタクトレンズは事前に外したほうが良い
- ⑤ ハードコンタクトレンズは必ず事前に外すこと
- ⑥ コンタクトケースの消毒に適した設備がある場合を除き、ケースの共有（使い回し）はしない

### 3. まぶた保護テープの使用

- ① 保護テープは皮膚用途のものを使用する
- ② ツイザーからの刺激を守るため幅 10mm 以上のものを使用する
- ③ 皮膚への刺激軽減するため、低粘着のものを使用する（必要に応じて粘着を弱める）
- ④ テープの粘着性物質にアレルギーがある場合は低アレルギー性のものを使用する
- ⑤ テープが角膜や結膜に触れないように保護する
- ⑥ 上まぶたを持ち上げるためのテーピングは眼裂に隙間ができないよう注意する
- ⑦ 上まぶたを持ち上げるためのテーピングはまゆ毛が抜けないよう貼り合せ等を施す

#### 4. 装着技術

- ① まつ毛1本にラッシュを装着する1 by 1 装着法を徹底する
- ② 1本1本セパレートにする
- ③ 自まつ毛に負担のかからない太さ（太すぎない）・長さ（長すぎない）のラッシュを使用する
- ④ ラッシュの根元がまつ毛から離れないよう密着させて装着する

#### 5. グルーから眼とまぶたを守る

- ① まぶた等アレルギーを起こした事のあるグルー（同じ成分のグルー）は使用しない
- ② グルーの量は多すぎず適量使用する
- ③ 水滴のようなダマが生じた場合はリムーバーで取り去る
- ④ 白化現象が起こるような蒸気圧の高いグルーは使用しない
- ⑤ グルーを付着させたラッシュを目元等に落とさないよう接合面の広いツイザーを使用する

#### 6. ツイザーから守る

- ① ツイザーの先端がまつ毛以外の皮膚に直接触れないよう注意する
- ② 下まぶたを保護しているテープは上まぶたとの間に隙間をつくらぬよう貼る

#### 7. 施術中の注意事項

- ① 施術中に目（眼裂）が完全に閉じた状態を保っているか定期的に確認する
- ② 入眠時の痙攣によって突如ビクッと身体が動くことがあるので注意する
- ③ 施術中にグルーによる皮膚の過敏症状が現れた場合は直ちに施術を中止しリムーブする（リムーバーに過敏でない場合）

#### 8. ドライ作業

- ① まつ毛周辺に滞留したグルーの揮発物を吹き飛ばす
- ② グルーの硬化を促進させる（ドライヤーで空気を送り時間を置く）